

若鷺の坂

第2号 令和6年4月27日(土) 発行 【文責】濱野正樹

〒681-0003 鳥取県岩美郡岩美町浦富 707 番地

【職員室】Tel 0857(72)0121 【事務室】Tel 0857(73)1633

URL <https://www.torikyo.ed.jp/iwami-j/>

3年生修学旅行での思い出 3選

3年生が4月22日(月)～4月24日(水)の3日間、東京方面へ修学旅行に行ってきました。3日間の天候が心配されましたが、予定された全行程をこなしてきました。私なりに気のついたことを3つお伝えします。

(1) 浅草仲見世通りで日本人に会うのは難しい。

1日目に各グループで浅草仲見世通りを散策しました。雷門にある、巨大な提灯の前で写真を撮るなどそれぞれの記念を心に刻んでいたようです。雷門の大提灯前から集合場所まで約700mの道のりを歩いたのですが、びっくりしたのは外国人観光客がとても多いこと。コロナ禍明けであること、円安ドル高の影響があるとガイドさんは教えてくれました。びっくりしたのは、会話している人の言葉で、修学旅行生以外の日本語を聞くことがほとんどありませんでした。耳を澄ましてみると、フランス語、スペイン語、中国語、韓国語と思われる言語を話している人たちがいて、多種多様。はっきりと分からない言語も多くありました。グローバル化が進んでいることを肌で感じました。そんな中、岩美中の生徒で「先生、外国人の人に写真を撮るように頼まれて撮ってあげた」と報告してくれた人がいました。どこの国から来た人かは分からなかったようですが、外国の人と意思疎通ができたことを喜んでいました。見ず知らずの外国人と会話する勇気が見えた瞬間でした。



【楠木正成像の前で記念撮影】

(2) 友達の大切さ

3日目の帰路で羽田空港で集合したときに、まちがって別の列に並んでしまった人がいました。それに気づいた生徒がその人を呼び、列に戻ることができて人数確認が完了できました。ちょっとした気遣いで正しい方向に戻そうとする生徒がいること、それを素直に受け入れようとする生徒にうれしく思いました。また、どこに入っているのか分からない生徒がいましたが、友達に「自分はどこに入ったらいいか」と尋ねられて、しおりを見ながら教えている生徒がいました。ちょっとした気遣い、気配りができる優しい生徒が多いと思う場面でした。

(3) ホテル部屋備え付けのメモにメッセージ

3日目のホテル出発前に担当の教員で手分けをして、各部屋をチェックします。忘れ物がないかを確認するためです。担当の教員が、ある班の部屋に入ってチェックを行いました。ホテルにはメモ用紙が備え付けてあります。誰が書いたのかわかりませんが、そのメモ用紙には

「2日間たいへんお世話になりました。楽しい修学旅行になりました。
ありがとうございました。 岩美中学校

とメッセージが書かれていたそうです。その報告を聞いて、感謝の気持ちをホテルに届けようとするちょっとした行動をうれしく思いました。ホテルの人に感謝の言葉を直接伝える時間がとれなかった中で、書くことで自分の気持ちを伝えようとした人がいることに感動しました。本年度、「授業づくりと絆づくり」をテーマにスタートしましたが、この生徒から一期一会を大切にすることを教わりました。

このような体験を通して生徒たちは学び、成長していくのだと感じた3日間でした。